

広葉雑草防除の エキスパート

芝生用 / 除草剤

ダブルアップ® DG

 **BASF**

We create chemistry

ダブルアップ[®] DG

一年生広葉雑草を長期防除 芝生に対する高い安全性

幅広い殺草スペクトラムと優れた効果

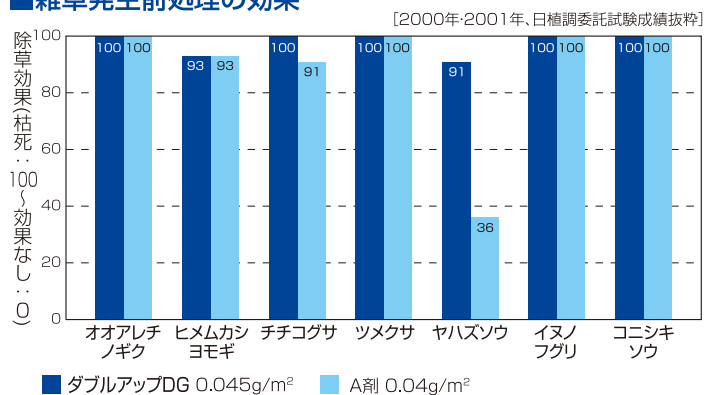
●一年生広葉雑草に安定した除草効果を示します。

◎:優れる ○:有効 △:劣る

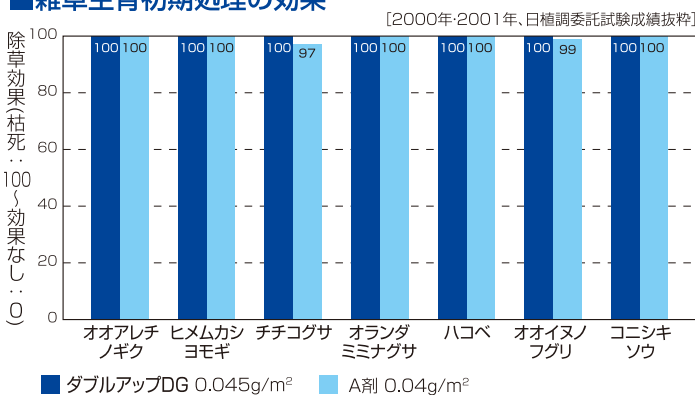
殺草スペクトラム		ダブルアップDG			
		0.045g/m ²		0.06g/m ²	
		発生前	生育初期	発生前	生育初期
キク科	オオアレチノギク	◎	◎	◎	◎
	ヒメムカシヨモギ	◎	◎	◎	◎
マメ科	シロツメクサ*	◎	◎	◎	◎
	ヤハズソウ	○	△	○	○
オオバコ科	オオバコ	◎	○	◎	○
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	◎	○	◎	○
カタバミ科	カタバミ	◎	○	◎	◎
アブラナ科	ナズナ	◎	◎	◎	◎
ナデシコ科	ミミナグサ	◎	◎	◎	◎
	オランダミミナグサ	◎	◎	◎	◎
セリ科	チドメグサ*	◎	◎	◎	◎
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	◎	◎	◎	◎
	ヒメグサ*	◎	◎	◎	◎
トウダイグサ科	コニシキソウ	○	○	◎	◎

*多年生雑草(適用外草種につき参考データ)

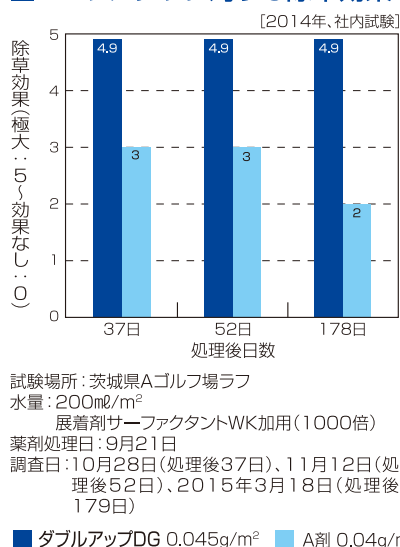
■雑草発生前処理の効果



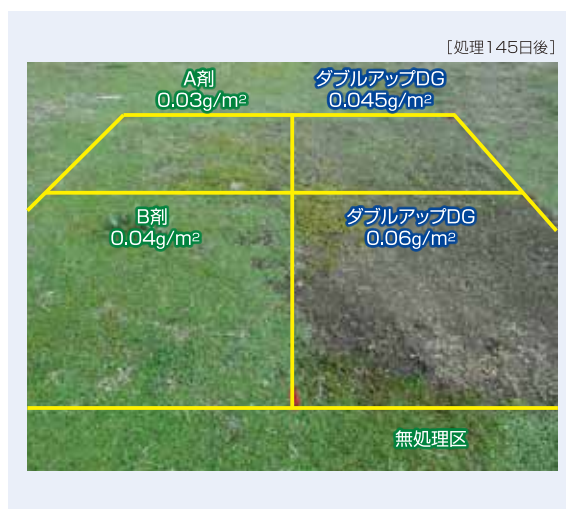
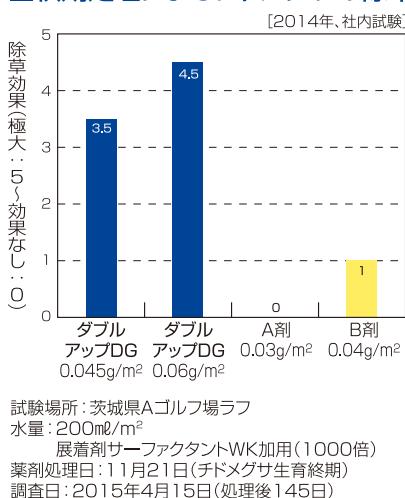
■雑草生育初期処理の効果



■シロツメクサに対する除草効果



■秋期処理によるチドメグサの除草効果



土壌処理活性に優れ、雑草を長期にわたり抑草します。

芝生への高い安全性

一年生広葉雑草に対して優れた効果

扱いやすい顆粒水溶剤

長い残効性と幅広い散布適期

日本芝・西洋芝への安全性

■日本芝に対する安全性

[社内試験成績抜粋]

日本芝	薬量 (g/m ²)	散布時期	安全性
コウライシバ	0.06g/m ² (登録最高薬量)	春期散布	
	0.12g/m ² (登録最高薬量×2)	秋期散布	
ノシバ	0.24g/m ² (登録最高薬量×4)	春期散布	
		秋期散布	

■西洋芝に対する安全性

[社内試験成績抜粋]

西洋芝	薬量 (g/m ²)	散布時期	安全性
ケンタッキー ブルーグラス	0.06g/m ² (登録最高薬量)	秋期散布	
ペレニアル ライグラス			
トールフェスク	0.12g/m ² (登録最高薬量×2)		
バーミューダグラス			

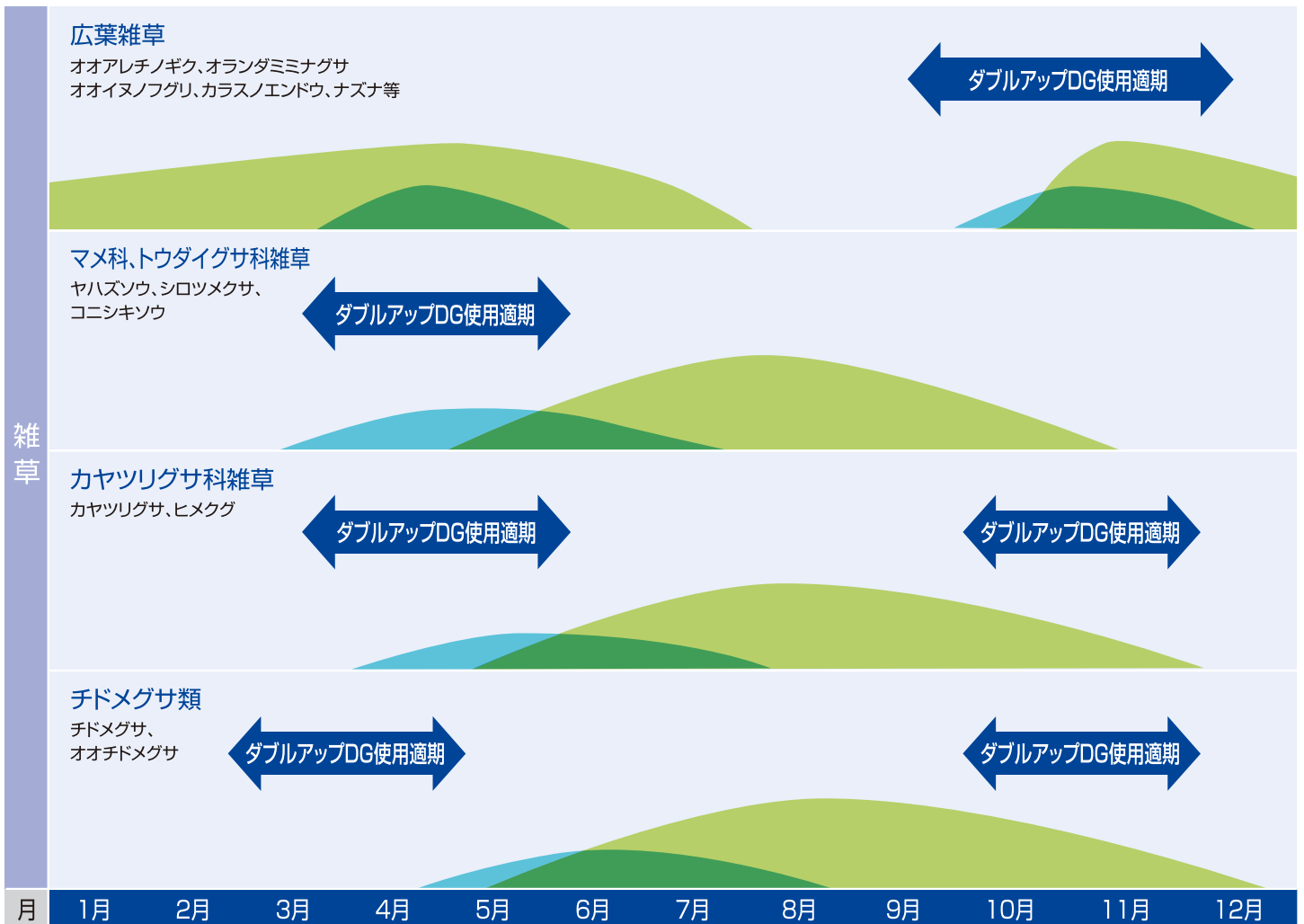
日本芝、西洋芝ともに安全性が高く、ドリフトや持ち込みの心配がありません。

効果的な散布適期

- 雑草発生前から生育初期の処理で、高い効果を発揮します。
- 残効が長く、芝に優しい除草剤です。

■雑草の発生と使用適期

■ 発芽期間 ■ 生育期間



成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第20766号

除草剤分類 2

種類：シクロスルファムロン水和剤

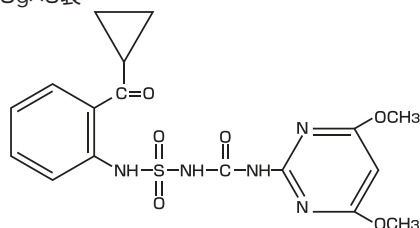
成分：シクロスルファムロン…66.0%

化学名：1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

性状：類白色水和性細粒

規格：225g×6袋

構造式



人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものをさす)という通称

LD ₅₀ (ラット、経口)	5000mg/kg以上
LD ₅₀ (ラット、経皮)	4000mg/kg以上

魚毒性(製剤)

コイ	LC ₅₀	100mg/L(96時間)
オオミジンコ	EC ₅₀	9.5mg/L(48時間)
緑藻	EbC ₅₀	0.000478mg成分/L(72時間)

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
日本芝	一年生広葉雑草	芝生育期 (雑草発生前～生育初期)	30～60g/10a (1m ² あたり 0.03～0.06g)	200～250L/10a (1m ² あたり 200～250mℓ)	3回以内	全面土壌散布	3回以内
西洋芝 (ブルーグラス、ライグラス)							

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	シクロスルファムロンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	一年生及び 多年生広葉雑草	雑草発生前	45～90g/10a	100～200L/10a	3回以内	植栽地を除く 樹木等の 周辺地に 全面土壌散布	3回以内

使用上の注意事項

- (1) 本剤の所定量を所要量の水で希釈し、均一に混合してから散布してください。散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- (2) 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、時期を失しないように散布してください。
- (3) 散布薬液の飛散、あるいは本剤の流出によって有用植物に被害が生ずることのないよう十分に注意して散布してください。
- (4) 水源池等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- (5) 激しい降雨が予想される場合は使用を避けてください。
- (6) 散布器具の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、また空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。
- (7) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- (8) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- (9) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。
- (10) 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- (11) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- (12) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- (13) 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- (14) 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管してください。
- (15) 水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- (16) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- (17) 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。内包装が水溶性フィルムの場合、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を強く閉じて保管してください。

●ラベルをよく読んでください。 ●記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届くところに置かないでください。
●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ●洗浄水はタンクに入れてください。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階

☎0120-014-660 <https://turf-ornamentals.basf.co.jp/>

BASF-0207 3
202011